

経営方針

■ 経営基本理念

地域社会の発展に貢献する

■ 経営ビジョン

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

■ 行動指針

- ① 金融を通じて中小企業の発展と住民の生活向上のために心から奉仕する。
- ② 役職員は常に一体となって健全かつ積極的な経営に努める。
- ③ 職員の生活向上を図り明るく朗らかな職場を築く。

■ 当金庫の経営の考え方

● 狭域高密度経営

預金・貸出金の残高が多いことが必ずしも経営の健全性に結びつかないことが明らかになっています。

当金庫は定められた営業範囲の中で、さらに地域に密着し、独自の金融サービスをより充実させていく所存です。

● 健全・効率経営の継続

厳しい経済環境のもと、当金庫がこれまで標榜してまいりました健全・効率経営に今後も努めてまいります。

● 基本的な経営姿勢

当金庫は、経営理念に基づいて役職員の行動指針を定め、当金庫が目指す姿を経営ビジョンとして描いています。

大きく変化する金融環境のもと原点に立ち返って、地域協同組織金融機関としての使命を再確認しています。

● 真に存在感のある信用金庫でありつづける

数字が表す以上に、地域のみなさまに「頼りがいのある金融機関だ」といわれるよう努力してまいります。

■ 当金庫の主な事業

● 預金業務

当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等

● 貸出業務

手形貸付、証書貸付、当座貸越、手形の割引(でんさい割引含む)

● 為替業務

内国為替業務、外国為替業務

● 証券業務

有価証券投資業務、公共債の引受・販売、私募債の引受、投資信託の販売等

● 保険募集業務

年金保険、終身保険、がん保険、医療保険、火災保険、傷害保険等

● 代理業務

日本銀行、日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構等

● その他

債務保証、貸金庫業務、公金取扱業務、電子債権記録業に係る業務、確定拠出年金業務等、企業等の経営改善支援

りんご宣言

明るく(赤く)、まあるく、
密度(蜜度)高いサービスを
お客さまにお届けします



■ 明るいおもてなし

●お客さまの心に寄り添い、みずみずしい笑顔でお迎えます。

各店で「当店のCS宣言」を店頭に掲示し、お客さまに、より満足してご利用いただける金融機関を目指して日々取り組んでいます。

〈活動の一例〉

◆「一般救命講習会」実施(平成30年11月14日)
全店舗へAEDを設置したことから、阿南消防署さまを講師にお招きし、全23店舗および本部の女性職員で構成する「内務リーダー」24名を対象に、AEDを用いた救命講習を実施しました。万が一の時の救命の動きを実践的に学びました。



一般救命講習会(研修所トレスト下條にて)

胸骨圧迫実習

■ まあるいお付き合い

●お客さまにずっと愛されるよう、心のつながりを大切にします。

お客さまに愛され続ける金融機関となるために、窓口や訪問先などでお客さまの何気ない「つぶやき」を集める取り組みを行っています。お客さまの「つぶやき」は各店から本部へ集められ、金庫全体で共有しています。お客さまの温かいお言葉に元気をいただいたり、日々の改善に活かしたりしています。

〈活動の一例〉

◆「当金庫職員によるお客さま向けマナー勉強会の実施」
当金庫では令和元年に到達するビジョンとして「CS活動における地域のリーディング企業として、地域社会に貢献している」を掲げ、その実現に向けた活動のひとつとしてお取引企業さまに出向き、「応対接遇」「ビジネス・マナー」に関する研修を行っています。今後も活動を継続していきます。



研修風景(平成30年4月)

■ 密度の高い金融サービス

●お客さまの身近で頼りになる存在であるために、
一人ひとりが学び続けます。

職員が選択できる学習内容を充実させ、お客さまのお役に立てるよう一人ひとりがそれぞれの課題に向けて継続的に学んでいます。

〈活動の一例〉

◆「CSハンドブック」
「りんご宣言」の礎となる「期待する人材像」に向かって、日本一を目指す具体的な行動を起こしています。「CSハンドブック」は、その行動のために必要な心構え、姿勢、応対、マナーなどを職員向けにわかりやすく解説した冊子です。マナー等で迷ったことがあればこの冊子を開き、「りんご宣言」を実践しています。



CSハンドブック(平成29年6月、全職員に配付)

第8次中期経営計画(2019年度～2021年度)

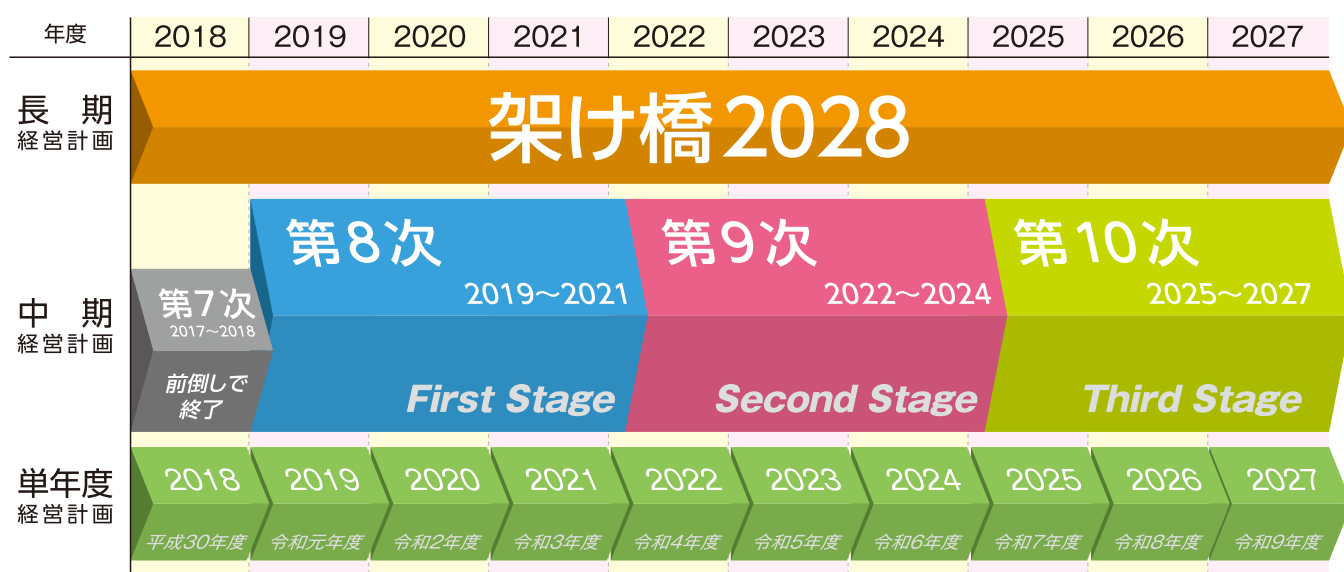
当金庫では、2018年6月に当金庫初となる長期経営計画「架け橋2028」を策定したことから、第7次中期経営計画を2019年3月までの2年間で終了とし、2019年4月から第8次中期経営計画をスタートしました。

■ 経営ビジョン(2028年のありたい姿)

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

- 常にお客さまの立場になって考え、行動することで、強い信頼関係が結ばれている。
- 地域の現状をしっかりと把握し、地域の将来の可能性を見据え、地域の発展に寄与する施策を自ら積極的に展開し、南信州の価値向上に貢献している。

■ 当金庫の経営計画フレームワーク



■ 第8次中期経営計画の概要(1)

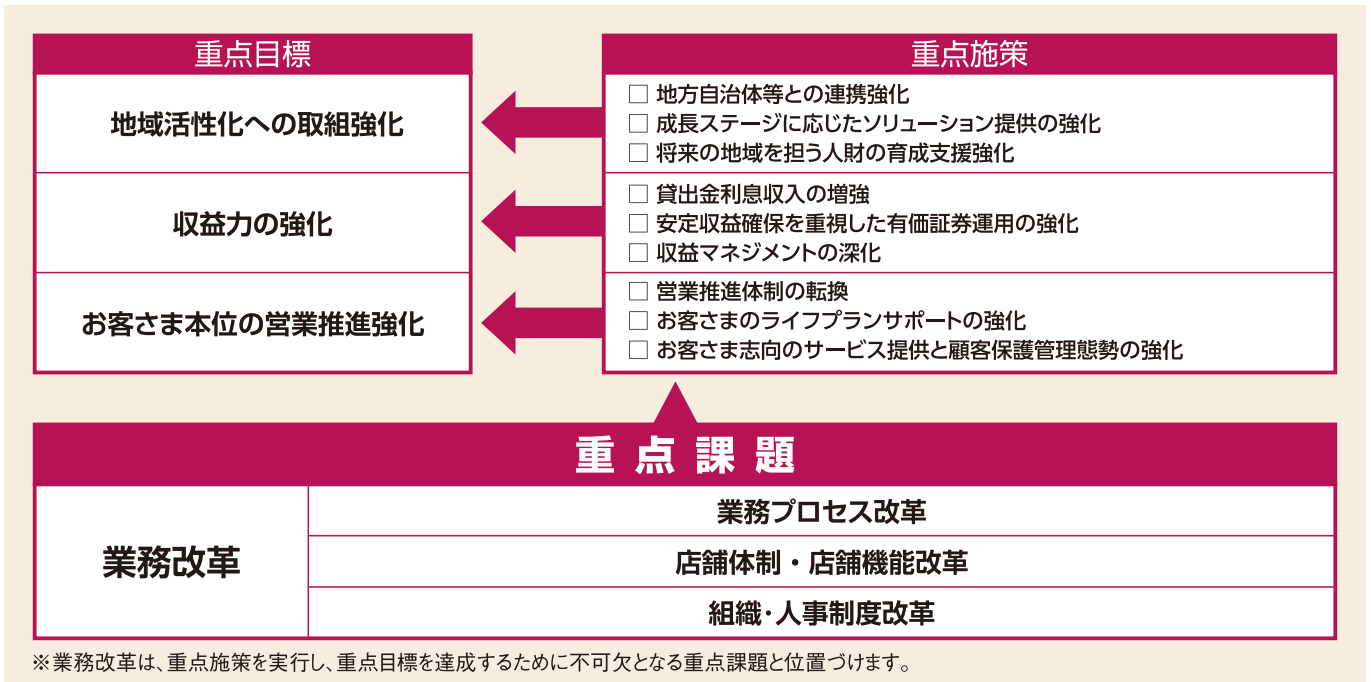
既存概念や前例にとらわれることなく、職員一人ひとりが自分自身の頭で考え、創造力を発揮すること。そして、変化に取り残されることのないよう、常にスピード感を持ち続け、組織はもとより、自らの改革に対しても、本気でチャレンジすることを基本方針として取り組んでまいります。

名 称	架け橋2028 First Stage ～改革へのチャレンジ～
期 間	2019年 4月1日～2022年 3月31日
基本方針	職員一人ひとりが創造力を発揮し、スピード感を持って、本気で改革にチャレンジする
ありたい姿 (=経営ビジョン)	地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関
重点課題	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改革 業務改革 <input type="checkbox"/> 店舗体制・店舗機能改革 <input type="checkbox"/> 組織・人事制度改革

第8次中期経営計画の概要 (2)

「地域活性化への取組強化」、「収益力の強化」、「お客さま本位の営業推進強化」の3つを重点目標とし、これを達成するための9つの重点施策を展開します。

また、重点施策の実効性を高め、重点目標の達成を目指すため、「業務プロセス改革」、「店舗体制・店舗機能改革」、「組織・人事制度改革」の3つの業務改革を着実かつ確実に遂行します。



業務改革の概要

重点課題である「業務改革」の遂行により、経営資源(時間・人員・資金等)を創出し、付加価値の高い分野に活用します。また、働き方改革が推進され、当金庫は時代に対応した働きがいのある職場へと進化します。これにより、組織全体の生産性が向上し、当金庫は激しい環境変化を乗り越えられる「しなやかで強靱な組織」へ進化します。



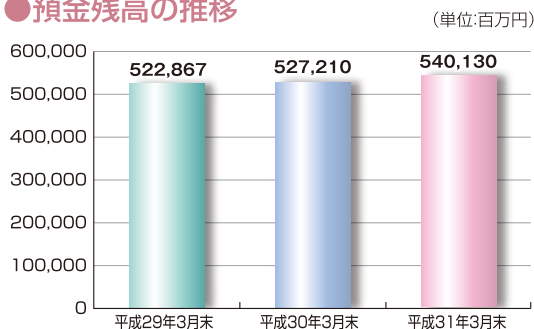
業績ハイライト

金融機関の競争はますます激しくなっていますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げる事ができました。

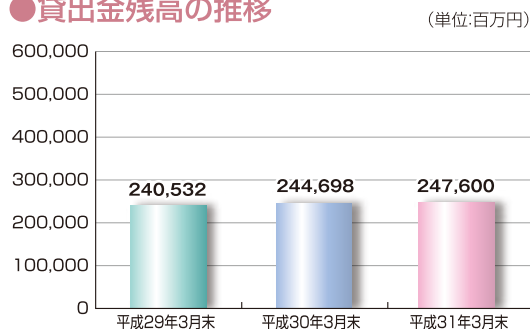
業績は堅調を維持しています。

■ 預金・貸出金の状況

● 預金残高の推移

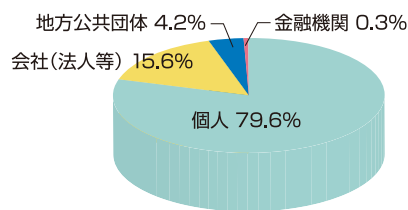


● 貸出金残高の推移



● 預金積金について ▶ 詳細P37

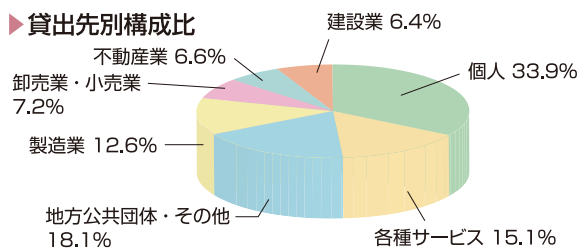
▶ 預金者別構成比



▶ 預金積金残高 5,401億円

● 貸出金について ▶ 詳細P38

▶ 貸出先別構成比



▶ 貸出金残高 2,476億円 ▶ 預貸率^(注) 45.8%

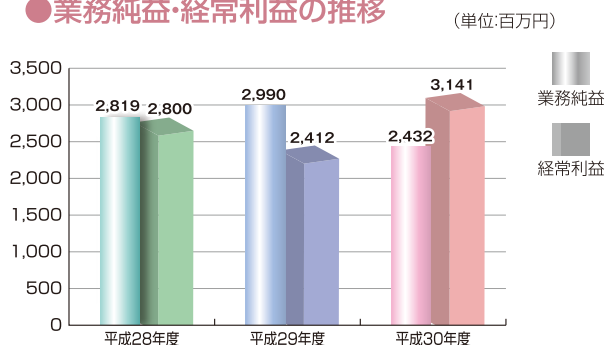
(注) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

預金の期末残高は、前期末比129億19百万円、2.45%増加し5,401億30百万円となり、増加額、増加率ともに前期を上回り堅調に推移しました。個人預金がキャンペーン商品の販売等により前期末比2.20%増加したことに加え、法人預金も一般法人が堅調に推移し前期末比3.43%の増加となりました。

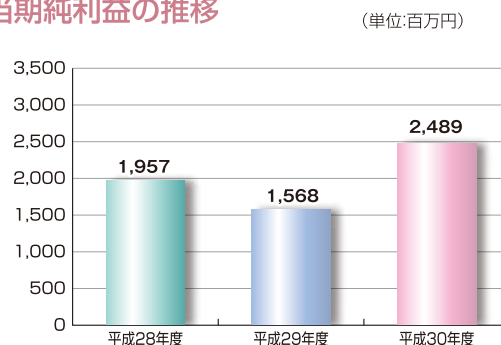
貸出金は、前年に引き続き重点施策として積極的に取り組んだ結果、一般法人向け融資および住宅ローンが堅調に推移したことから、期末残高は前期末比29億1百万円、1.18%増加し2,476億0百万円となりました。

■ 収益の状況

● 業務純益・経常利益の推移



● 当期純利益の推移



金利低下の影響に伴い貸出金利息収入および有価証券利息収入が減少したことから、業務純益は前期比5億57百万円減少の24億32百万円となりました。一方、従来繰入していた個別貸倒引当金が戻入に転じたことから、経常利益は前期比7億28百万円増加し31億41百万円に、当期純利益は前期比9億20百万円増加し24億89百万円となりました。

有価証券の含み益は318億円。

■ 有価証券の状況

● 保有有価証券の時価情報

(単位:百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有有価証券	株 式	7,897	10,361	2,464
	債 券	238,402	262,207	23,804
	その他	29,833	35,392	5,559
合 計		276,132	307,961	31,828

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しています。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は318億円となりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

自己資本の額は567億円。

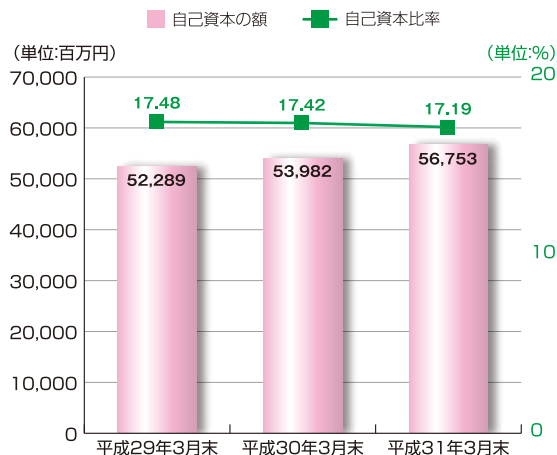
■ 自己資本比率(単体)

● 自己資本の額・自己資本比率の推移

分子である自己資本の額は、当期純利益24億89百万円を計上したことなどから、前期末比5.13%増加し567億53百万円となりました。一方、預金の堅調な増加に伴い総資産額が増加したことに加え、貸出金やリスク・ウェイトが高い有価証券の残高が増加したことなどから、分母であるリスク・アセットは前期末比6.56%の増加となりました。

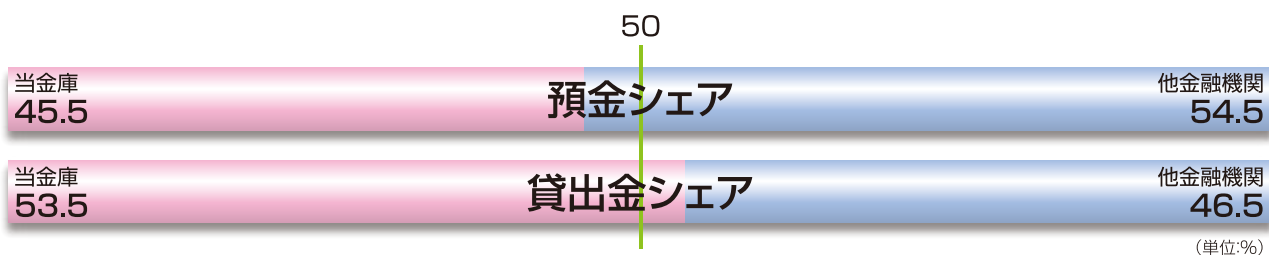
この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の17.42%から0.23ポイント低下し17.19%となりました。

資産の増加などにより自己資本比率は低下しましたが、当金庫の自己資本比率は国内基準の4倍以上となっており、強固な体質を維持しています。



地区内シェアはNo.1。

■ 地区内シェアの状況



地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.5%、貸出金残高シェアは53.5%となっています。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計

新入職員入庫式

平成30年 4月2日(月)

金庫行事

17名(総合職6名、専能職11名)の新入職員は、理事長から一人ひとり配属先を記した辞令を受け取り、社会人としての第一歩を踏み出しました。新入職員は3月27日(火)から事前研修を重ね、4月16日(月)から配属先での業務を開始しています。



SYMS 2018年度 定期総会・記念講演会

平成30年 4月17日(火)

後援団体

SYMS(シームス、しんきん若手経営者の会)では、定期総会・記念講演会に元鳥取県知事、元総務大臣の片山善博氏(早稲田大学公共経営大学院教授)を迎え、「地方の再生と日本の将来～地域の自立と再生を目指して～」のタイトルでご講演いただきました。



全店統一企画後援団体旅行

平成30年 4月24日(火)～5月23日(水)

後援団体

第8回となる全店統一企画後援団体旅行では、湯沢の高台に位置し越後の山々を眺望できる越後湯沢温泉「ホテル双葉(新潟県南魚沼郡)」にご一泊いただきました。



第32回 飯田やまびこマーチ

平成30年 4月28日(土)・29日(日)

協 賛

現在18大会ある日本マーチングリーグ(Jml)公式大会の中で、「飯田やまびこマーチ」は日本スリーデーマーチ(埼玉県東松山市)に次いで2番目に歴史のある大会です。春爛漫の光と緑の中、河岸段丘の高低あるコースを自然の豊かさを満喫しながら歩くイベントで、2日間で全国からのべ4,617名のウォーカーが参加しました。



飯田やまびこマーチ実行委員会

オーケストラと友に音楽祭2018

平成30年 4月30日(月)～5月5日(土)

協 賛

「オケ友」と称されるこの音楽祭は、「市民とプロオーケストラとのコラボレーションにより、クラシック音楽を楽しみ、学び、子どもと市民と地域社会に広がっていく市民が創る音楽祭」を基本理念として開催されています。「オケ友2018」では10周年記念事業として、「第1回からの音楽クリニック受講生と名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演(成果発表演奏会)」が実現しました。



オーケストラと友に音楽祭実行委員会

第21回 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ

平成30年 5月24日(木)

協 賛

ツアー・オブ・ジャパンは、UCIアジアツアー2.1にカテゴリライズされる自転車ロードレースであり、日本国内では都府県をまたぐ唯一のステージレースです。第5ステージ(全8ステージ)である南信州ステージは、飯田市下久堅地区の県道と農道を使用し、標高差約180mの周回コースを12周するアップダウンの激しいコースです。



TOJ南信州ステージ実行委員会

第25回 天竜川水系環境ピクニック

平成30年 5月26日(土)

その他

公益財団法人 長野県テクノ財団 伊那テクノバレー地域センター リサイクルシステム研究会が主催する天竜川水系環境ピクニックは1994年に始まり、第25回を迎えました。近年では約5,000名が参加する初夏の風物詩となり、当金庫の職員も家族連れで多数参加し河川敷の空き缶・空きビンを拾い歩きます。

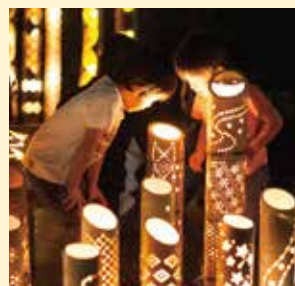


第10回 竹宵まつり 100万人のキャンドルナイト

平成30年 5月26日(土)

協 賛

竹宵とは、筒に穴を開けてさまざまなデザインが施された大きさ30～50センチほどの竹灯ろうです。午後6時、飯田市内の川路・麻績・長野原の竹宵の会が制作した1600本の竹宵に一齐点灯しました。今回は初めての試みとして、りんごのお酒「シードル」を試飲・販売する「ナガノシードルコレクション」と同時開催されました。



百万人のキャンドルナイトin南信州実行委員会

県下信用金庫体育大会

平成30年 5月26日(土)・9月8日(土)

その他

県下信用金庫体育大会は、長野県内にある6信用金庫の職員がさまざまなスポーツで競い合う大会です。5月に野球・庭球の部が長野県上田市で開催され、野球は準優勝、庭球は女子ペアが見事優勝を果たしました。9月に排球・卓球の部が長野県茅野市で開催され、男子排球が見事準優勝を収めました。



SYMS 同友会定期総会・記念講演会

平成30年 6月14日(木)

後援団体

「ホンマでっか!?TV」でおなじみの門倉貴史氏(BRICs経済研究所代表、エコノミスト)を迎え、「アジア・中国経済の今後をどう見るか」のタイトルでご講演いただきました。



資産運用セミナー

平成30年 6月16日(土)・11月1日(木)

主 催

第1回はアセットマネジメントOneにより「世界経済を取り巻く環境と今後の見通し」、第2回は日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)の飯田陽一氏(東京海上日動火災保険確定拠出年金部コンサルティンググループ課長)により「セカンドライフを豊かに過ごすためには、どんな準備が必要なのか?~今からできること~」のタイトルでご講演いただきました。



SYMS ビジネスマッチングフェア

平成30年 7月11日(水)・12日(木)

後援団体

浜松市のアクトシティ浜松において、「ビジネスマッチングフェアin Hamamatsu 2018」が開催されました。このフェアは「浜松から未来へつなぐ価値創造!」をテーマに掲げ、「ビジネスマッチングを通じた地域の活力創造」を開催趣旨としています。当日はSYMS情報委員会がサポートし、出展企業2社および南信州のPRを行いました。



高校生インターンシップ

平成30年 7月17日(火)・18日(水)

主 催

学校での学習の充実化、また勤労観・職業観の育成を図ることを目的とし、毎年地元の高校生に当金庫の業務を体験していただいています。お札の勘定や窓口受付といった金融機関業務のほか、マナー講座や自身のライフプラン作成など、仕事やお金に関わるさまざまな講義も行っています。



焼肉(やきにく)ロックフェス2018

平成30年 7月21日(土)

協 賛

人口1万人あたりの焼肉店舗数が日本一多いという飯田市の地域資源を活かすため、ロック好きな仲間が集まって立ち上げたイベントです。約2,000名の来場者が焼肉を、ビールを、そしてロックを楽しみました。当金庫の職員も多数ボランティアとして参加しました。



焼肉ロックフェス実行委員会

信濃グランセローズ 飯田開催試合

平成30年 7月22日(日)

協 賛

当金庫では、長野県信用金庫協会が公式スポンサーとなっている信濃グランセローズの飯田開催試合を応援しています。試合開催日の前週(7月17日~20日)、本店営業部の職員が信濃グランセローズのユニフォームを着用し、応援を広く呼びかけました。



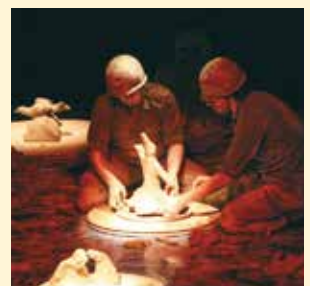
信濃グランセローズ

いいだ人形劇フェスタ 2018

平成30年 8月3日(金)~12日(日)

協 賛

いいだ人形劇フェスタはだれもが参加できる日本最大の人形劇の祭典です。“人形劇のまちが生まれて40年”記念「世界人形劇フェスティバル」では、世界6大州(アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニア)の国々から、それぞれの歴史や文化に育まれた個性あふれる人形劇が大集結しました。



いいだ人形劇フェスタ実行委員会

小学生向けお金の体験教室

平成30年 8月4日(土)

主 催

「親子で楽しもう♪夏休みお金の体験教室&レクリエーション」と題して飯田りんごんと同日に開催したイベントには、約200名の小学生・保護者のみなさまにご来場いただきました。当日は公益財団法人 日本レクリエーション協会公認インストラクターを迎え、スローインボトルやキャッチング・ザ・スティックなどさまざまな体験をお楽しみいただきました。



第37回 飯田りんごん

平成30年 8月4日(土)

その他

飯田りんごんは飯田市の中心商店街で行われる夏の一大イベントです。「りんごん りんごん ホイ おいな～」の掛け声に合わせて約1万人が盛大に踊り歩き、連帯と協調の輪を広げます。当金庫役職員も参加連の中で最大級の規模となる総勢200名超が参加し、大いに祭りを盛り上げました。



大学生・短大生向けインターンシップ

平成30年 8月17日(金)

主 催

当金庫では例年大学3年生・短大1年生の採用活動開始前に、学生から「発見される」「選ばれる」ための機会として職業体験型インターンシップを実施しています。ただし、採用試験とは直接の関係はありませんので、気軽にご参加いただいています。



電話対応コンクール 飯田・阿南地区大会

平成30年 8月28日(火)

その他

「レンタカー会社の受付担当者として、実施中のキャンペーンを絡めながら、利用する目的にふさわしいプランを提案する」という設定で電話対応のスキルを競うコンクールが開催されました。当金庫からも14名の職員が参加し、うち1名が見事優勝し長野県大会への切符を手に入れました。



BCP訓練

平成30年 9月1日(土)

金庫行事

BCP(Business Continuity Plan = 事業継続計画)は、緊急事態発生時事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。当金庫では毎年飯田市防災訓練の前後の休日に、大規模災害発生に伴う各種対応の訓練を実施しています。



年金友の会特別公演 島津亜矢コンサート

平成30年 9月5日(水)・6日(木)

後援団体

当金庫では1992年から、年金友の会会員のみなさまを観劇・歌謡ショーに優待しており、今回は「島津亜矢コンサート」を開催しました。2日間4公演で約3,700名のお客さまにご来場いただきました。圧倒的な歌唱力でヒット曲、新曲、昭和の名曲など全22曲を歌い上げ、来場者を魅了しました。



西支店新築移転開店

平成30年 9月18日(火)

金庫行事

当金庫西支店と東野支店は統合して、新店舗「西支店」として新築移転オープンしました。広くゆとりあるロビーと駐車場を持ち、快適で利用しやすい店舗に生まれ変わりました。充実したスタッフと最新機器の導入によって、これまで以上に質の高い金融サービスを提供してまいります。



信州ブレイブウォリアーズ 飯田大会

平成30年 9月23日(日)

協 賛

前日は当金庫提供のバスケットボールクリニックが開催され、地元の男子高校生約40名に対し所属プロ選手が指導しました。飯田市上郷出身の鳴海亮選手が所属する越谷アルファーズとのプレシーズンゲーム当日は、644名の観客が見守る中、74-59で見事勝利を収めました。



©SHINSHU BRAVE WARRIORS/B.LEAGUE

第34回 しんきん各店対抗ゴルフ大会

平成30年 10月4日(木)

後援団体

各営業店でお取り引きいただいているゴルフ愛好家など約190名・24チームが出場し、団体戦・個人戦で優勝目指して競い合いました。自身の年齢以下のスコアで18ホールを回る「エージシュート」達成者が4名も出るなど、ハイレベルな戦いで盛り上がりを見せました。



特別養護老人ホーム 清掃ボランティア

平成30年 10月6日(土)~28日

金庫行事

平成27年度、当金庫の創立90周年に地域貢献活動の一環として開始した清掃作業ボランティア活動です。飯田市下伊那地方の特別養護老人ホーム12施設で、120名の役職員が窓拭き、車イス洗い、クモの巣払い、駐車場掃除、草取りなどの清掃作業を実施しました。



第64回 風越(かざこし)登山マラソン大会

平成30年 10月28日(日)

協 賛

大正時代から始まったとされる「日本一歴史のある登山マラソン大会(自称)」で、数々の健脚をうならせてきました。中でも、12.4kmの最長コースは県内一(自称)を誇る標高差およそ1,000mの過酷さです。県内外から参加した473名のランナーは、記録に挑戦したり、楽しみながら走ったり、それぞれの目標や楽しみ方で秋の風越山を満喫しました。



風越登山マラソン大会実行委員会

AED(自動体外式除細動器)全店舗設置完了

平成30年 11月1日(木)

金庫行事

万が一ご来店いただいたお客さまや地域のみなさまに救命措置の必要性が生じた際迅速に対応できるよう、順次AEDの設置を進めてまいりました。11月1日、当金庫本支店全店舗(23店舗)および事務センター、研修所に設置が完了しました。なお、店舗閉店後や土日にもご利用いただけるよう、各店舗のATMコーナーに設置してあります。



第12回 飯田丘のまちフェスティバル グルメサミット

平成30年 11月3日(土)

協 賛

フィギュア、コスプレ、痛車、ドールなどのサブカルチャーを中心とした約35のイベントと約250のブースが集まり、飯田市の中心市街地がまるごとお祭り広場に変わる祭典です。当金庫では例年、職員がちびっこコスプレ体験やチャリティーバザーを出展し、その収益金を下伊那郡町村会と飯田市社会福祉協議会善意銀行に寄附しています。グルメサミットには、三遠南信地域のほかりニア沿線地域である山梨県・岐阜県の事業者さまも出展されました。



第35回 窓口対応コンクール

平成30年 11月10日(土)

金庫行事

「基本対応を徹底し、お客さまから好感を得ることのできる窓口係」「また来店したいと思っていただけるような、信頼関係の構築ができる窓口係」「判断するために必要と思われる情報収集を行い、法令遵守に基づいた適切な説明・対応ができる窓口係」を目指し、各店の代表選手20名が大観衆を前にロールプレイング形式で日々の鍛錬の成果を発表しました。



しんきん事業承継・M&Aセミナー

平成30年 11月14日(水)

主 催

「事業承継のポイントについて知りたい方」「後継者問題を抱えている方」「M&Aによる第三者承継を検討している方」「事業拡大を検討している方」を対象として、(株)事業承継ナビゲーター 代表取締役副社長 長坂道広氏により「継がせる選択」、(株)日本M&Aセンター 金融法人部 飯塚仁康氏により「譲る選択」のタイトルでご講演いただきました。



第11回 三遠南信しんきんサミット

平成30年 11月17日(土)

主 催

三遠南信地域の9信用金庫が主催するサミットで開催されたしんきん物産展では、111の企業・団体がブースを構え、各地域の特色ある食や特産品を販売しました。しんきん講演会にはニュースキャスターの幸坊治郎氏を迎え、「どうなる明日の地方経済?!~正しい判断は正しい情報から~」のタイトルでご講演いただきました。



防犯訓練

平成30年 11月19日(月)

金庫行事

当金庫では毎年飯田警察署にご協力いただき、年末前に職員の防犯意識を高めるための訓練を実施しています。今回は強盗に手馴れた設定の犯人役(署員)から、渡した手提げ袋の返却や後ろ向きに100数えるよう要求があり、より現実感・緊張感の高い訓練となりました。



第50回 しんきん経済講演会

平成30年 11月22日(休)

主 催

(株)吉番屋(カレーハウスCoCo壱番屋)創業者の宗次徳二氏(現同社特別顧問、NPO法人イエロー・エンジェル理事長)を迎え、「経営革新はリーダーの行動革新から」のタイトルで、カレーハウスを創業し全国チェーン店にした独自の経験談をユーモア交えてご講演いただきました。



防災訓練

平成30年 11月28日(水)

金庫行事

当金庫では毎年、全店で防災訓練および緊急事態対応手順テストを実施しています。当日は避難訓練、訓練用消火器による消火訓練、室内消火栓を使用した放水訓練(以上、本店ビル)を行ったほか、電話やメールによる通信確認、備品チェックなどにより災害に備えています。



女性応援セミナー キ★ラ★リ

平成30年 12月1日(土)

主 催

地域の女性を応援するために企画した女性限定セミナーの第4回として、「整理収納」をテーマに、地元で活躍する整理収納アドバイザーより「整理収納で叶える時短・幸せのうまれるキッチンへ」、当金庫資産アドバイザーより「整理収納は、お金の面でもいいことづくめ」のタイトルで講演を行い、20名の方に聴講いただきました。



第3回 みなみ信州駅伝・ロードレース大会

平成30年 12月2日(日)

協 賛

身体を動かすことの楽しさを体験し、スポーツ活動の日常化や競技スポーツへの進展へ結びつけることを目的として、2016年に始まった大会です。駅伝では、地域や市町村対抗の1部に15チーム、各種団体で参加する2部に75チームの計750名がエントリーしました。小学3年生から50歳以上を対象に4部門を設けたロードレースには約300名が参加しました。



(公財)飯田市体育協会

ヤングドライバークラブ 交通安全人波作戦

平成30年 12月4日(火)

金庫行事

若年層ドライバーの事故防止と将来の安全運転管理者育成を目的に発足されたヤングドライバークラブのメンバーを中心に、約2週間にわたり全営業店の周辺道路で街頭啓発活動を展開しました。本店周辺では約45名の役職員がのぼり旗を持って街頭に立ち、通勤・通学途中のドライバーや歩行者に交通安全を呼びかけました。



藤本四八記念 美博小中高校生写真賞

平成31年 1月19日(土)

協 賛

飯田市松尾出身の写真家・藤本四八氏(故人)の功績の顕彰と写真文化の発展を目的に1996年～2016年に開催された「飯田市藤本四八写真文化賞」から、小学生・中学生・高校生部門を独立させた写真賞です。最高賞の藤本四八記念大賞に次ぐ「しんきん大賞」が各部門に設けられています。



藤本四八記念大賞「小さな世界」

高校「金融教室」での講義

平成31年 1月24日(木)・2月7日(木)

その他

高校3年生を対象とした「生活にかかわるお金の基礎知識」を身に付けるための講義が飯田OIDE長姫高等学校と阿南高等学校で開催されました。学校からの依頼を受け、ひとり暮らしの生活費やキャッシュレス決済の留意点、貯蓄の重要性について当金庫の資産アドバイザーが講義を行いました。



SYMSフェア・SYMS&同友会経営者大会2018

平成31年 1月26日(土)

後援団体

会員相互の交流やSYMSの価値を再発見してもらうための新事業として、SYMSフェアを初めて開催しました。展示ブースでは120社が出展し、事業PR、製品・商品の展示や販売を行いました。セミナーの講師として、よしもとクリエイティブ・エージェンシーの品川祐氏(品川庄司)を迎え、「トーク力の高め方」のタイトルでご講演いただきました。



しんきん家造りセミナー

平成31年 1月26日(土)

主 催

「しんきん家造り応援クラブ」の会員さま向けに、住宅資金に関わる税制を中心とした情報提供の場として「しんきん家造りセミナー」を開催しました。下平伸次税理士事務所所長の下平伸次氏を迎え、「住宅計画その前に! 知って得する税制のお話」のタイトルでご講演いただきました。



青年部バスハイク

平成31年 2月2日(土)・3日(日)

金庫行事

青年部は入庫5年目までの若手職員で構成される職員会組織で、春の集い(総会)、夏の集い(パーベキュー)、チャリティーバザー、ボランティア、忘年会などにより交流を深めています。バスハイクでは三重県の鳥羽・伊勢方面へ行き、名所の見学や買い物を楽しみました。



キャッシュレス決済セミナー

平成31年 2月8日(金)

主 催

スマホ決済サービス「Origami Pay」を提供する㈱Origamiと業務提携し、地域のキャッシュレス化に向けた取り組みをスタートしました。169名のお客さまにご参加いただいたセミナーには、㈱Origamiと㈱しんきんカードから講師を招き、地域の事業者さまにキャッシュレス決済対応を進める必要性と、「QRコード」「クレジットカード」の決済手段についてご解説いただきました。



食の縁結び! 南信州うまいものマーケット・商談会

平成31年 2月24日(日)・25日(月)

その他

当金庫と南信州地域振興局等との共催により、名古屋国際センターで首都圏、中京圏のバイヤーを招いた商談会を開催し、13バイヤー、26サブバイヤーによる117の商談が行われました。また、名古屋の金山総合駅コンコースでは、飯伊地域の特産品の紹介・販売により南信州をPRし、多くのお客さまにお立ち寄りいただきました。

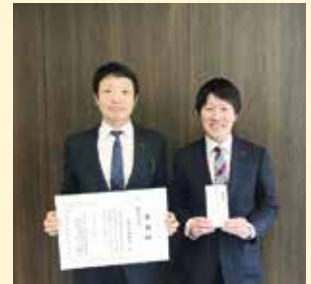


創業支援事例コンテスト

平成31年 3月12日(火)

その他

関東信用金庫協会主催の創業支援事例コンテストが開催されました。26信用金庫が応募した一次審査では書類審査により上位5事例が選出され、二次審査ではプレゼン方式の発表により最優秀賞1事例、優秀賞1事例、敢闘賞3事例が選出されました。その結果、当金庫が創業支援に取り組んだ事例が見事最優秀賞に輝きました。



第18回 萩元晴彦ホームタウンコンサート

平成31年 3月23日(土)

主 催

飯田市馬場町出身のプロデューサー・萩元晴彦氏(故人)が「故郷に一流の音楽を届けたい」と企画し、1995年に始まったホームタウンコンサートは第18回を迎えました。今回は中村太地(バイオリン)×辻本玲(チェロ)×佐藤卓史(ピアノ)の若手トリオが室内楽4作品を披露し、約450名の観客を魅了しました。



萩元晴彦ホームタウンコンサート実行委員会

ものづくり補助金セミナー

平成31年 3月26日(火)

主 催

2月18日から5月8日まで、平成30年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業」による通称「ものづくり補助金」の募集がありました。この補助金への理解を深めるため、長野県中小企業団体中央会ものづくり事業推進部部長を講師として招き「ものづくり補助金セミナー」を開催し、23事業者から28名が受講されました。



フレッシュアズ給与振込キャンペーン

預 金

平成30年 2月19日(月)～5月31日(木)

キャンペーン期間中、当金庫に新たに給与振込をご指定いただき、本キャンペーンにご応募いただいた方に、VJAギフトカード1,000円分をもらえなくプレゼントいたしました。



未来応援定期「結」

預 金

平成30年 6月11日(月)～9月28日(金)

特別金利を付加する定期預金を発売いたしました。魅力の金利でご好評をいただき、期間中156億円お預け入れいただきました。



出資証券の電子管理

取 組 み

平成30年 9月10日(月)～

会員のみなさまからお預かりした出資金については、これまで出資証券を発行してまいりましたが、近年の株式会社における株券と同様に不発行とし、当金庫の会員名簿により電子的に一元管理することといたしました。出資金残高ならびに会員としての権利等につきましては、これまでと変わらぬのでご安心ください。



目的ローンWEB申込の金利優遇開始

融 資

平成30年 9月18日(火)～

目的ローンのWEB申込みに対する金利優遇を開始しました。ご来店不要の便利なお手続きがご得にご利用いただけるようになりました。



南信州地域活性化事業「★三つ星プロジェクト★」

取 組 み

平成30年 10月1日(月)～

①地域にある3つの星(南信州、お取引先、金庫)、②一直線に並ぶ3つの星(リニア品川駅、リニア長野県駅、リニア名古屋駅)、③最高級の3つの星(南信州のまち力、南信州のひと力、南信州のしごと力)が輝く未来を創出することを目的として、南信州地域活性化事業「★三つ星プロジェクト★」を開始しました。お取引先へのきめ細かな訪問活動により、課題の把握とその解決のお手伝いをしてまいります。



台風24号に係る農業者さまの金融支援

融 資

平成30年 10月1日(月)～

平成30年台風24号の被害に遭われたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。農業被害に遭われたお客さまの災害復旧に係る資金ニーズにお応えするため、農業被害等緊急対策資金「畑のお守り」をご用意いたしました。また、農業に必要な資金をスピーディーにご利用いただける農業者さま向け専用当座貸越ローン「アグリパートナーII」もご用意しています。



為替24時間365日システム稼働

各種サービス

平成30年 10月9日(火)～

当金庫本支店・他金融機関あて即時振込の取扱時間が拡大され、ますます便利になりました。



特別金利定期預金「暖」

預 金

平成30年 11月12日(月)～平成31年 1月18日(金)

特別金利を付加する定期預金を発売いたしました。魅力の金利でご好評をいただき、期間中114億円お預け入れいただきました。



しんきん地域貢献型私募債「輝く未来」

融 資

平成30年 11月26日(月)～

企業のみならずの成長・発展と地域貢献に資する活動を応援する「しんきん地域貢献型私募債(呼称:「輝く未来」)」の取り扱いを開始しました。私募債発行企業さまから当金庫が受け取る手数料の一部をもとに、地域の小中学校や高校などの教育文化施設に書籍や備品などを寄贈しました。今後とも発行企業さまとともに、地域の将来を担う子どもたちの成長支援と魅力溢れる地域づくりに取り組んでまいります。



フリーローンキャンペーン

融 資

平成30年 12月3日(月)～平成31年 4月26日(金)

期間中に対象のフリーローン商品を50万円以上ご利用いただいた方に、QUOカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



「Batonz(バトonz)」との連携開始

各種サービス

平成30年 12月25日(火)～

小規模事業者の後継者不在問題の解決を目的に、インターネット上でM&Aマッチングサービスを行う事業承継支援サイト「Batonz(バトonz)」との連携を開始しました。全国ネットワークを活用したM&Aによる事業承継機会のご提供により、事業承継問題を抱えるお客さまの課題解決への支援についてさらに積極的に取り組んでまいります。



投資信託キャンペーン

各種サービス

平成31年 1月4日(金)～令和元年 5月31日(金)

期間中、投資信託のご購入など対象となるご契約をいただいたお客さまに、VJAギフトカード1,000円分をもれなくプレゼントいたしました。



キャッシュレス決済対応支援

各種サービス

平成31年 2月12日(火)～

キャッシュレス化による「地域経済の活性化」に向け、しんきんカード(クレジットカード)およびOrigami Pay(QRコード決済)導入支援の取り組みを開始しました。



facebookによる地域情報の発信

取り組み

継続中

当金庫が運営するfacebookでは、地域で行われる民俗芸能や各種イベントのほか、セミナー開催、営業に関するお知らせなどさまざまな情報を発信しています。みなさまも是非ご覧いただき、いいね!またはシェアをお願いします。



リニア中央新幹線に関する取り組み

取り組み

継続中

平成26年7月に設置した総合企画部リニア対策室は、平成29年6月に地域サポート部リニア対策課として生まれ変わり、リニア中央新幹線に関する情報収集と提供、官公庁・諸団体との連絡窓口等の役割を担っています。2027年の開業に向けて工事が本格化する中、これまで以上に地域のみなさまと連携してまいります。



景気動向調査

取り組み

毎月25日

飯田下伊那地区の景気動向調査に基づいてまとめた「産業経済動向」を、ご希望いただいたお客さまや行政・金融機関等に配付し、ホームページにも掲載しています。本誌では、主要経済指標、各業種の概況・業況判断指数(DI)、雇用の状況、当金庫の専門アドバイザーが執筆したコラム、リニア対策課によるレポート等を掲載しています。



コーポレートガバナンスの状況

当金庫は、総代会、理事会、監事会、会計監査人等による外部牽制・内部牽制体制のもとで、コーポレートガバナンスの体制強化を図り、経営の健全性・適切性の確保に努めております。

また、地域金融機関としての社会的責任と公共的使命を自覚し、当金庫グループは法令・倫理に基づくコンプライアンスの徹底を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員一丸となって取り組んでおります。

飯田信用金庫内部統制基本方針

- 1.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制を整備しております。
- 2.当金庫は理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制を整備しております。
- 3.当金庫は金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制を整備しております。
- 4.当金庫は金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 5.当金庫は金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制を整備しております。
- 6.当金庫はその他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制を整備しております。
- 7.当金庫は金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制を整備しております。

内部統制基本方針の運用状況の概要

1.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

(1)当金庫はグループ全体として法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、コンプライアンスマネジメントシステム(以下、「CMS」という)を構築、倫理綱領を定めるとともに、コンプライアンス基準書を策定・変更する等、体制の整備を行っております。また、子会社関連会社を含むCMS委員会にて毎年定期的に会合を行うとともに、所属員に対し毎年CMS教育を行っております。また、所属員のCMS行動基準の遵守状況を毎月定期的に確認しております。

(2)監査部は、法令等遵守態勢の有効性及び適切性について当金庫グループ全体の監査を行い、その結果を常勤役員・常勤監事及び本部各部署に報告するとともに理事会へその最終報告を行い、必要に応じて被監査部門及び関連部署に改善すべき事項の改善を求め、その実施状況を検証しております。

(3)常勤監事は内部統制基本方針の体制及び運用状況について、理事会へ報告を行っております。

2.当金庫及びその子法人等の損失の危険の管理に関する規程その他の体制の運用状況

(1)適正な統一的リスク管理を実現するため、リスク統括規程を制定し、常勤役員が出席する毎月の「ALM委員会」においてリスクの把握・確認に努め、管理方法の改善を図っております。

(2)監査部は、内部監査において当金庫グループ全体の業務執行に伴い発生するさまざまなリスクを正しく把握し、適切に管理しているかを検証し、常勤役員及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

3.当金庫の理事及びその子法人等の取締役等の職務執行が効率的に行われるための体制の運用状況

(1)当金庫グループ全体の職務執行が効率的に行われるため、子法人等管理部門は四半期毎に財務報告を受けるとともに、毎年定期的にヒアリングを行い必要に応じて理事会及び常勤役員会へ報告しております。

(2)当金庫代表理事の業務執行状況は定例理事会において報告し確認を行っております。

4.当金庫の理事及び職員並びにその子法人等の役職員が監事へ報告する体制に関する運用状況

(1)理事及び職員並びにその子法人等の役職員は、当金庫グループ全体に著しい損害を及ぼす事項について、CMS緊急事態対応に準じて速やかに常勤役員または常勤監事に報告を行うこととしております。また上記の報告を行った所属員の職場環境が悪化しないよう適切な措置を講じるよう当金庫グループ全体に周知しております。

5.監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制の運用状況

(1)監事は代表理事と定期的に会合を行い、理事会その他重要な会議へ出席し、当金庫の本支店並びに子法人等の監査を毎年行い代表理事に報告し、必要に応じて代表役員及び関連部署に是正を求めております。

(2)監事は内部監査部門・会計監査人等との連携を通じ、監査が実効的に行われることを確保しております。

6.当金庫及びその子法人等における業務の適正を確保するための体制の運用状況

(1)当金庫の子法人等の業務の決定及び執行について相互の連携が適正になされるよう、子法人等の非常勤取締役及び非常勤監査役を当金庫の常勤役員が兼務し、子法人等の取締役会に出席しております。

(2)監査部は、子法人等の法令等遵守態勢やリスク管理態勢の適切性・有効性を監査し、その結果を定期的に常勤理事及び常勤監事に報告するとともに理事会へその最終報告を行っております。

法令等遵守の態勢

◆コンプライアンスマネジメントシステム(CMS)

飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、役職員が信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、法令等を遵守して行動することをお約束するため「倫理綱領」を定めております。

また、役職員一人ひとりの業務活動が倫理綱領に沿ったものであることを確実にするため、CMSの仕組みを構築し、運用しております。

このCMSにおいては、定期的なモニタリングや監査などを組み合わせることによってその実効性を確保するとともに、お客さまからお寄せいただくご意見・ご要望・苦情なども、業務改善や経営改善に反映させていただいております。

さらに、毎年の実施結果は、理事会での見直しによって継続的な改善を行っております。

飯田信用金庫 倫理綱領

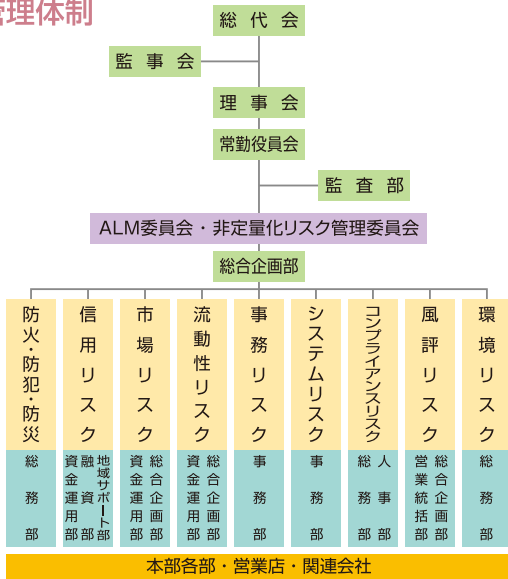
飯田信用金庫及び関連会社は、法令・倫理に基づく業務活動を経営上の最重要課題と位置づけ、これをマネジメントシステムとして確立し、継続的な改善に努める。

1. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員は、社会的責任と公共的使命を常に自覚し、責任ある健全な業務運営の遂行に努める。
2. 経済活動を支えるインフラとしての機能はもとより、創意と工夫を活かし、お客さまのニーズに応えるとともに、セキュリティレベルにも十分配慮した質の高い金融および非金融サービスの提供等を通じて、地域経済・地域社会の発展に貢献する。
3. あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範に決してもとることの無い、誠実かつ公正な業務運営を遂行する。また、お客さまが当金庫及び関連会社との取引に関して期待する利益が不当に害されないよう、適切に管理するための態勢を整備することに取り組む。
4. 経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図る。
5. 飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員の人権、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保する。
6. 環境マネジメントシステムの適切な運用により、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組む。
7. 社会の中においてこそ存続・発展し得る存在であることを自覚し、社会と共に歩む「良き企業住民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む。
8. 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。
9. この倫理綱領は、飯田信用金庫及び関連会社の役職員・社員に周知するとともに、一般に開示する。

リスク管理の状況

総合企画部を統合的なリスク管理部署として位置づけ、当金庫がさらされるあらゆるリスクに対応する体制を整え、リスク統括規程に基づき状況に対応した適切なリスク管理を行っております。なお、定量化が困難なリスクについては、半年に1度開催する非定量化リスク管理委員会にて把握・管理する体制としており、その内容は理事会に報告しております。

●リスク管理体制



●コンプライアンスリスク管理

当金庫では、平成14年度からISOの手法を取り入れたコンプライアンスマネジメントシステムを構築し、運用しています。法令等遵守の基本方針である「倫理綱領」に基づいて年間の行動計画を策定し、役職員に対するコンプライアンス教育を行うと同時に、苦情・提案等を積極的に取り込み、改善に努めております。

また、このマネジメントシステムの確実な運用を確保するため、事務検査、内部監査などにより、多角的なチェックを実施しております。

●信用リスク管理

当金庫では、貸出資産の健全性を維持するため、貸出審査部門と業務推進部門を分離し、厳格な審査体制をとっています。また、内部研修の実施や外部研修への派遣により職員の審査能力向上を図るとともに、不動産管理システム及び信用格付システムの導入によって貸出資産の管理にも努めております。有価証券運用に関しては、市場リスク管理規程による限度額管理を行っております。

〔資産自己査定の実施〕

適正な償却・引当を行うため、資産の自己査定を実施し、リスク量の把握に努め、経営の健全性を確保しております。また、合理性のある査定のため、信用格付制度を導入しております。

●事務リスク管理

当金庫では、日常の事務ミスを未然に防止するため、内部規程の整備を行うとともに内部研修による職員の事務処理能力向上を図る一方、事務の内容によって日次、月次での店内検査実施を義務づけることにより、万一事故が発生した場合でも早期発見できる体制を整えております。

また、関連部署では逐一苦情の原因となった事務ミスや事務取扱方法を分析・検討し、事務ミス情報の共有化を図る体制を構築するなど、積極的に改善に取り組んでおります。

●市場リスク管理

金融政策の変更により、市場運用環境も変化しておりますが、当金庫では市場リスク管理規程に基づき牽制機能を働かせる中で厳格で健全な運用管理に努め、ALM委員会でリスク量を把握・コントロールする体制としております。

●風評リスク管理

当金庫では、お客さまからのご要望やご不満に素早くお応えするための態勢整備に努めており、お取引店だけでなく本部担当部署も加わって現状の把握と原因の分析による問題解決を図るとともに、再発防止のための施策に反映する仕組みを整えております。

また、みなさまに安心してお取引いただきたいよう、経営内容の積極的な開示に努めております。

●流動性リスク管理

当金庫では、流動性リスク管理会議を開催し、毎週支準準備資産の状況などをモニタリングしているほか、毎年実施するBCP訓練の現金手配訓練により緊急時対応に備えております。

●システムリスク管理

当金庫では、リスクの所在や種類などを明確にするとともに、厳格なセキュリティ管理と定期的な点検やシステム監査を実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っております。また、一般社団法人しんきん共同センターに加盟しており、不測の大規模災害等に備えた万全のバックアップシステムが機能し、万一コンピュータトラブルが発生しても迅速に対応できる仕組みとなっております。

●環境リスク管理

当金庫では、平成12年11月に環境マネジメントシステムISO14001規格の認証を取得、現在は同規格の最新版へステップアップし運用を行っております。具体的には、当金庫業務が環境に与える影響を調査し、環境保護のための施策を立案して実施しているほか、お客さまが当金庫をご利用いただくことにより、環境保護活動にご参加いただけるような商品の開発に努めております。

環境への取り組み

当金庫は、飯田・下伊那に本店・支店を置く地元金融機関として、金融を通じて地域の経済発展に寄与することはもとより、飯田・下伊那という豊かな自然に囲まれた地域を未来に残していく責任を感じています。

豊かな風土を後世に引き継ぐために。

経済・文化貢献に加えて、環境改善に取り組むことは企業住民としての責務と考え、この目的をより合理的・効果的に達成するための手段として、国際的な環境マネジメントシステム規格であるISO14001の認証を、飯田信用金庫本店、支店、研修所、およびしんきんビジネスサービス(株)、飯田しんきんリース(株)、飯信商事(株)とともに飯田信用金庫グループとして取得しています。

■ 二酸化炭素排出量の削減や廃棄物のリサイクルをすすめています。

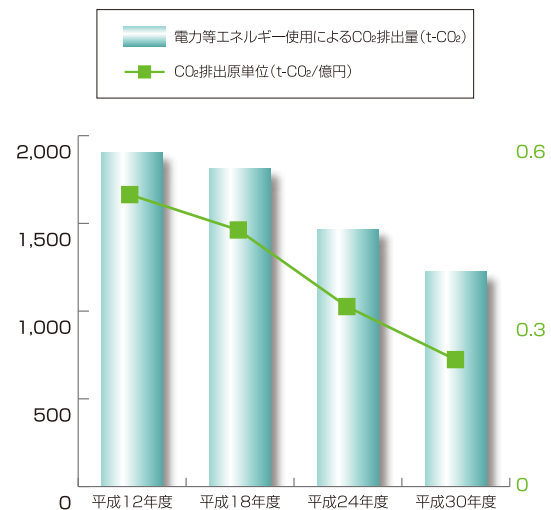
① 事業活動における環境負荷軽減の取り組み

地球温暖化ガス削減のため電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、平成30年度の二酸化炭素排出量(*1)は1,224トンとなり、基準年度とする平成12年度に比べ35.6%削減することができました。この結果、預金1億円あたりの二酸化炭素排出原単位(*2)は0.22トンとなり、平成12年度に比べ56.0%減少しています。

(*1) 二酸化炭素換算係数は、環境省ホームページの資料(エコアクション21の換算表など)を使用しています。

(*2) 二酸化炭素排出原単位とは、預金量1億円あたりの電力等エネルギー使用による二酸化炭素の排出量を表しています。

◆ 電力等エネルギー使用による二酸化炭素排出量の推移



	平成12年度	平成18年度	平成24年度	平成30年度
電力等エネルギー使用によるCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	1,903	1,812	1,467	1,224
預金量 (億円)	3,790	4,070	4,633	5,401
CO ₂ 排出原単位	0.50	0.44	0.31	0.22

環境方針

1. 基本理念

飯田信用金庫及び関連会社は、飯田・下伊那地域に本店をおく企業として、地域環境・地球環境の保全活動に取り組むことの重要性を認識し、役職員・社員一人一人が毎日の業務を通じて、地域の環境改善や文化創造への貢献に積極的に取り組みます。

2. 基本方針

- (1) 当金庫及び関連会社の全ての事業活動が環境に与える影響を、適切に評価し改善するための管理システムを構築・運用し定期的に見直すことによって、継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
- (2) 環境改善や汚染の予防の取組に関連して、法令、条例等の規制及び当金庫及び関連会社が同意するその他の基準等を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で一層の環境保全に取り組みます。
- (3) 継続的な環境改善と汚染の予防のため、優先的に取り組む項目を設定し、定期的に見直します。
- (4) 積極的な社内広報活動や計画的な環境教育の実施により、当金庫役職員・社員全員の環境保全に関する意識を高めるとともに、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- (5) この環境方針は、当金庫及び関連会社の施設内で働く全ての人々に周知するとともに、一般に開示します。



天竜川水系環境ピクニック

② 環境情報の発信等

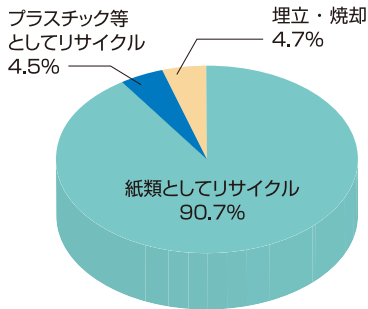
- 天竜川水系環境ピクニックへの参加
- 飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載 (広告料は飯田市の環境改善政策に活用されています)
- 地域ぐるみ環境ISO研究会への参加
- 長野県環境保全協会事業への参加
- ISO14001 (環境マネジメントシステム) 最新規格2015年版の認証登録更新

③リサイクルの推進

廃棄物のリサイクルをすすめ、事業活動により発生する廃棄物の95.3%をリサイクルすることができました。

◆平成30年度廃棄物リサイクル実績

平成30年度の総廃棄物量は62,356kgでした。廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル(高炉燃料)、その他はマテリアルリサイクル(再資源化)しています。



◆当金庫からの使用済紙のリサイクル



◆環境に配慮した素材の利用

エコユニフォーム

新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を60%使用しています。なお、使用後の制服はサーマルリサイクルしています。



エコクロス通帳

紙100%でできた通帳用紙を使用することにより、製造過程で発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わります。



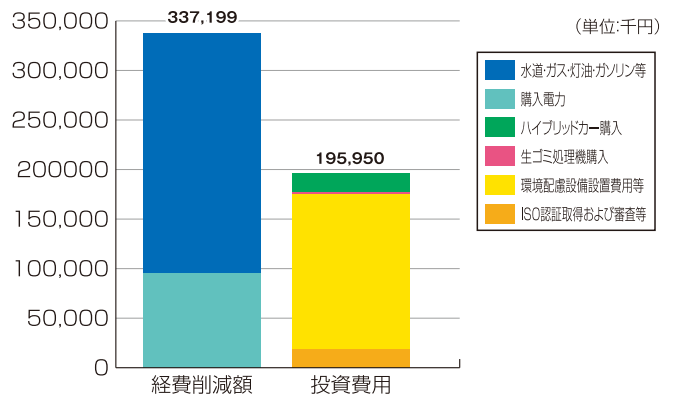
ベジタブルインキ

インキ中に含まれる植物油等が含有基準量以上のインキを使用しています。

■EMSの導入によりコスト削減効果も生まれています。

EMS(環境マネジメントシステム)を導入したことにより、平成30年度までの19年間で約1億41百万円のコスト削減効果がありました。

●EMS 取り組み以降の投資額とコスト削減効果



◆節電への取り組み

飯田信用金庫は、夏期の電力供給力の低下を受けて、照明の一部消灯や空調の適正な温度設定等の節電に取り組んでいます。

■融資商品を通じて二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇する住宅関連ローンを取り扱っています。

お客さまにご利用いただくことで二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

◆環境融資商品

商品名	優遇内容	優遇対象
住宅ローン	0.1%の金利優遇	太陽光発電システム、CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)、ガスエンジン給湯器(エコウィル)、潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)など環境に配慮した住宅設備をする場合
リフォームローン	0.2%の金利優遇	

◆融資業務を通じてお客さまにより削減された二酸化炭素排出量の実績(平成30年度)

	新規ご契約件数	融資金額(千円)	二酸化炭素削減効果(kg-CO ₂ e)
住宅関連融資	42	994,020	150,272

※二酸化炭素排出量削減効果については対象商品ごとに当金庫独自で算出しています。

お客さま保護等への取り組み

■ 個人情報保護法への対応について

平成17年4月1日に「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、当金庫では金融庁、全信協などのガイドライン、実務指針、自主ルールなどを参照し、個人情報の保護と適切な利用に関する考え方および方針に関する宣言(個人情報保護宣言)の公表や保有個人データのご本人への開示手続きなどを定めています。

個人情報保護宣言の全文、その他個人情報の取り扱いに関する詳細については、当金庫のホームページの他、店頭掲示のポスターにてご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.iidashinkin.co.jp/>



当金庫の個人情報の取り扱いに関してご不明な点がございましたら、お取引店窓口または事務管理課へお問い合わせください。

【飯田信用金庫 事務管理課】〒395-0054 飯田市箕瀬町2-2551-2 TEL.0265(52)0211 FAX.0265(52)0214

■ 反社会的勢力に対する対応について

平成19年6月に政府が「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を公表したのを受け、当金庫では倫理綱領に「社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除する。」ことを明示し、この方針に基づき、取引約款等に「暴力団排除条項」の導入を行うとともに、警察庁、金融庁などと連携を図り、暴力団等反社会的勢力との取引排除に取り組んでいます。

この取り組みを進めるにあたり、当金庫ではお客さまが反社会的勢力に該当しないことを表明・確認する書面へのご署名をお願いしています。お客さまには、お手間をおかけすることとなりますが、この取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

■ お取引時確認のお願いについて

マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与の防止を強化する目的で平成25年4月1日「犯罪による収益の移転防止に関する法律」が改正されたのに伴い、信用金庫では、口座開設等に際して従来の本人確認(氏名、住所および生年月日等)に加え、お取引の目的、職業や事業内容等について確認(取引時確認)させていただいています。

また、平成28年10月1日の再改正に伴い、顔写真のない本人確認書類のご提示における追加的な確認、法人のお客さまの実質的支配者として個人の方まで確認、および外国政府等において重要な公的地位にある方等の確認などをさせていただいています。

また、平成26年7月1日から米国の外国口座税務コンプライアンス法(通称「FATCA」)に基づいて、「お客さまが米国人に該当するか」の確認、平成29年1月1日からは租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律(略称「実特法」)に基づき、「お客さまが居住者として租税を課される国(居住地国)はどこか」について確認させていただいています。

併せてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

❗ 振り込め詐欺にご注意ください

「ATMで還付金が受け取れる」と言われたら、それは詐欺です。最近はおれ詐欺や還付金詐欺などの振り込め詐欺被害が増加しています。犯人は複数で劇団のように刑事役、弁護士役などを分担して演じることで被害者を信じ込ませ、お金を騙し取ろうとします。

少しでもおかしいなと思われたらお金を振り込む前、手続きする前に、もう一度ご家族やご友人などに確認・相談してください。

また、このような犯罪被害防止のため、当金庫では警察からの要請を受け、大口現金の払い戻しに際してはお使いみちの確認などの「お声掛け」をさせていただいていますので、ご理解をお願いします。

❗ キャッシュカードや暗証番号のお取り扱いにご注意ください

【お客さまへのお願い】

車上狙い等によりキャッシュカードが盗難に遭い、預金が不正に引き出される被害が社会的問題となっています。キャッシュカード等が盗難に遭ったり紛失されたりした場合は速やかに右記緊急連絡先までご連絡ください。

キャッシュカードが盗難に遭った場合に、暗証番号に生年月日など、類推されやすい番号を使用していたり、暗証番号を記録したメモと一緒に保管していたりすると、不正引き出し被害発生の確率が非常に高くなります。キャッシュカードの暗証番号は当金庫ATMで簡単に変更いただけますので、類推されやすい暗証番号を使用されている場合は変更いただけますようお願いいたします。また、定期的に変更されることをおすすめします。

❗ 偽造・盗難キャッシュカードなど被害の補償について

当金庫では、個人のお客さまの偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に対する補償を行っています。偽造・盗難キャッシュカードによる不正な預金払い出し被害に遭われた場合は、各お取引店へご相談ください。

なお、補償に際しては、キャッシュカード・暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況などについて、当金庫の調査にご協力いただくことが必要となります。

お客さまに「故意」、「重大な過失」または「過失」がある場合には、被害額の全部または一部について当金庫が補償いたしかねる場合がございますので、キャッシュカード・暗証番号の管理に十分ご注意ください。

【盗難・紛失時 緊急連絡先】

曜日等	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平日	8:30~17:00	各お取引店	店舗一覧(P58-59)をご確認ください
	上記以外の時間帯	事務センター	フリーダイヤル 0120-58-0211
土曜・日曜・祝日	24時間対応		

■ 金融ADR制度への対応

● お客さまからのご意見等に対する取り組み

飯田信用金庫は、金融商品や各種サービスなどに関するお客さまからのご意見、ご相談、苦情、紛争等(以下「苦情等」という)のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、以下のとおり金融ADR制度も踏まえ、内部管理態勢等を整備して苦情等の解決を図り、お客さま保護とお客さま満足度の向上に努めます。

1. 苦情等のお申し出があった場合、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店と関係部署との連携を図り、迅速・適切かつ公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努め、今後の業務運営に活かしていきます。
4. 営業店および各部署に責任者をおくとともに、総務部コンプライアンス課がお客さまからの苦情等を一元的に管理し、適切な対応に努めます。
5. 苦情等の対応にあたっては、解決に向けた進捗管理を行うとともに、苦情等のお申し出のあったお客さまに対し、必要に応じて手続の進行に応じた適切な説明を取引店から行います。
6. お客さまからの苦情等のお申し出は、全国しんきん相談所をはじめとする他の機関でも受け付けていますので、内容やご要望等に応じて適切な機関をご紹介します。
7. 紛争解決を図るため、弁護士会が設置運営する仲裁センター等を利用することができます。その際には、当該仲裁センター等の規則等も踏まえ、適切に協力します。
8. 苦情等への対応が実効あるものとするため、内部監査部門が検証する態勢を整備しています。
9. 苦情等に対応するため、関連規程等に基づき業務が運営されるよう、研修等により金庫内に周知・徹底します。

● 苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情等のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。苦情等は、各お取引店または総務部コンプライアンス課にお申し出ください。

- ① **各お取引店**(電話番号はP58・59参照)
受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ② **担当窓口** 総務部コンプライアンス課
電話番号:0120-114-943(フリーダイヤル) 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

当金庫でお取り引きいただいているお客さまからの相談や苦情を一般社団法人全国信用金庫協会が運営する全国しんきん相談所ならびに一般社団法人関東信用金庫協会が運営する関東地区しんきん相談所でも、電話、手紙、面談により受け付けています。

- ③ **全国しんきん相談所**
電話番号:03-3517-5825 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)
- ④ **関東地区しんきん相談所**
電話番号:03-5524-5671 受付時間:9:00～17:00(信用金庫の営業日に限る)

● 紛争解決措置

東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会(以下「東京三弁護士会」という)、長野県弁護士会が設置運営する仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、各お取引店、総務部コンプライアンス課、または全国しんきん相談所へお申し出ください。

また、各弁護士会に直接申し立ていただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。

- ① **東京弁護士会 紛争解決センター**
電話番号:03-3581-0031 受付時間:9:30～12:00、13:00～15:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ② **第一東京弁護士会 仲裁センター**
電話番号:03-3595-8588 受付時間:10:00～12:00、13:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ③ **第二東京弁護士会 仲裁センター**
電話番号:03-3581-2249 受付時間:9:30～12:00、13:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)
- ④ **長野県弁護士会 紛争解決センター**
電話番号:026-232-2104 受付時間:9:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く)

なお、東京三弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外のお客さまにもご利用いただけます。その際には、下記の方法によりお客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会の仲裁センター等もご利用可能です。

【移管調停】当事者間の同意を得たうえで、東京以外の弁護士会に案件を移管します。例)愛知県弁護士会に移管調停する。

■ 金融商品に関する勧誘方針

私ども飯田信用金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等にあたっては、次の事項を守って、適正な勧誘を行います。

1. 私どもは、お客さまの知識、経験、財産の状況およびその金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適切でわかりやすい情報の提供と商品説明をいたします。
2. 金融商品の選択・購入は、お客さまご自身の判断によってお決めいただけます。その際、私どもは、お客さまに適正な判断をしていただくために、その金融商品の重要事項について説明をいたします。
3. 私どもは、誠実・公正な勧誘を心がけ、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて知識の向上に努めます。
4. 私どもは、お客さまにとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。

※金融商品の販売等に関する勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

■ ATMによるキャッシュカード振込の一部制限について

振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は後を絶たず、依然として深刻な状況にあります。

特に、キャッシュカードを使用したお振込に不慣れな高齢のお客さまをATMに誘導して、預金を振り込ませる「還付金詐欺」が後を絶ちません。

当金庫では、こうした被害を防止するための対策としまして、一部のお客さまにつきまして、ATMによるキャッシュカードを使用したお振込を一部利用制限させていただきました。

お客さまには大変ご不便をおかけいたしますが、お客さまの大切な預金をお守りするための対策ですので、何卒ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

1.対象となる口座

70歳以上のお客さまの口座で、過去2年間ATMにてキャッシュカードを使用したお振込を利用されていないもの。

2.内容

上記の口座は、ATMにてキャッシュカードを使用したお振込ができなくなります。

※ATMでの振込限度額を「0円」とさせていただきます

3.お振込以外のお取引

キャッシュカードによるお預入れやお引き出しは、従来通りご利用いただけます。

4.上記の口座にてATMでのキャッシュカードによるお振込を希望される場合

平日の営業時間内に当金庫の窓口へお申し出ください。ご本人さまを確認のうえ、キャッシュカードによるお振込を可能とさせていただきます。

■ マイナンバー制度に関するお知らせ

平成28年1月より、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、マイナンバー制度が開始されました。

マイナンバー制度とは、税・社会保障・災害対策の分野における行政の効率化、国民生活の利便性の向上、公平・公正な社会を実現する社会基盤として導入された制度です。この制度により、国内に住民票を有する個人には12桁の個人番号、国内の法人には13桁の法人番号が割り振られています。

当金庫においては、税分野での一定のお取引引きにお客さまのマイナンバー(個人番号・法人番号)を届け出いただくことになりました。また、平成30年1月の改正法の施行により、預金口座へ個人番号・法人番号を付番することが追加されました。お客さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、マイナンバーは法令で定められた目的以外での利用は禁止され、取り扱いには厳格な管理措置が義務付けられています。当金庫では、「飯田信用金庫個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」に基づき、適正な取り扱いを行ってまいります。

■ お客さまからマイナンバー(個人番号・法人番号)の届け出をお願いする主な取引

個人のお客さま	法人のお客さま
<ul style="list-style-type: none"> ● マル優・マル特等の非課税貯蓄申告書関係 ● 財形預金(年金・住宅) ● 投資信託・個人向け国債の取引全般 ● 国外送金 ● 預金取引(当座預金・普通預金・定期積金・定期預金等) <p>※平成30年1月より</p> <p>※当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。</p> <p>他、法定帳票提出時に必要な場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期預金・定期積金・通知預金 ● 投資信託の取引全般 ● 国外送金 ● 預金取引(当座預金・普通預金等) <p>※平成30年1月より</p> <p>※当金庫の出資会員または新規加入する場合、マイナンバーをお届けいただく場合があります。</p> <p>他、法定帳票提出時に必要な場合</p>

※一度ご提出いただいた番号が変更となった場合は、再度ご提示をお願いします。

お客さまからマイナンバーをご提示いただく際、「番号確認」と「本人確認」をさせていただきます。お手続きの詳細につきましては、担当者よりご説明させていただきます。また、ご不明な点などございましたら、お取引店窓口または営業担当者までお問い合わせください。



地域密着型金融の推進への取り組みと 金融仲介機能の発揮

■ 地域密着型金融の推進への取り組み

平成29年6月に新設した地域サポート部では、さまざまな専門家との連携による良質な金融サービスの提供を目指しています。個人のお客さま向けとして、社会保険労務士2名が常駐し年金に関するご相談に応じています。さらに、個人のお客さまの金融資産の運用に関する専門的なご相談にじっくりと応じるため、資産アドバイザーを6名配置しています。

法人や個人で事業を営んでいるお客さま向けとして、過年度より2名のアドバイザーが、それぞれが製造業(工業部門)の経営や商工会議所・商工会において長く経営支援に携わった経験・ネットワークを活かし、多角的な視点から親身にご相談内容の解決に向けた取り組みを行っています。

さらに、当金庫では、平成30年4月より毎月第2木曜日、本店営業部にて長野県よろず支援拠点サテライト相談会を開催しています。長野県よろず支援拠点とは、地域の商工会議所・商工会、金融機関、大学等の機関と連携しながら、小規模事業者・中小企業が抱えるさまざまな経営相談に対応するため、平成26年度から各都道府県に1ヶ所ずつ設置された経営に関する公的な相談窓口です。長野県よろず支援拠点では、広い長野県内において、気軽に経営について専門家に相談できる体制としてサテライト拠点の整備を進めており、飯田下伊那地区では当金庫のみの開催となっています。今後もお取引先の経営上の課題解決に向け、長野県よろず支援拠点の連携強化を図ってまいります。

■ 金融仲介機能の発揮

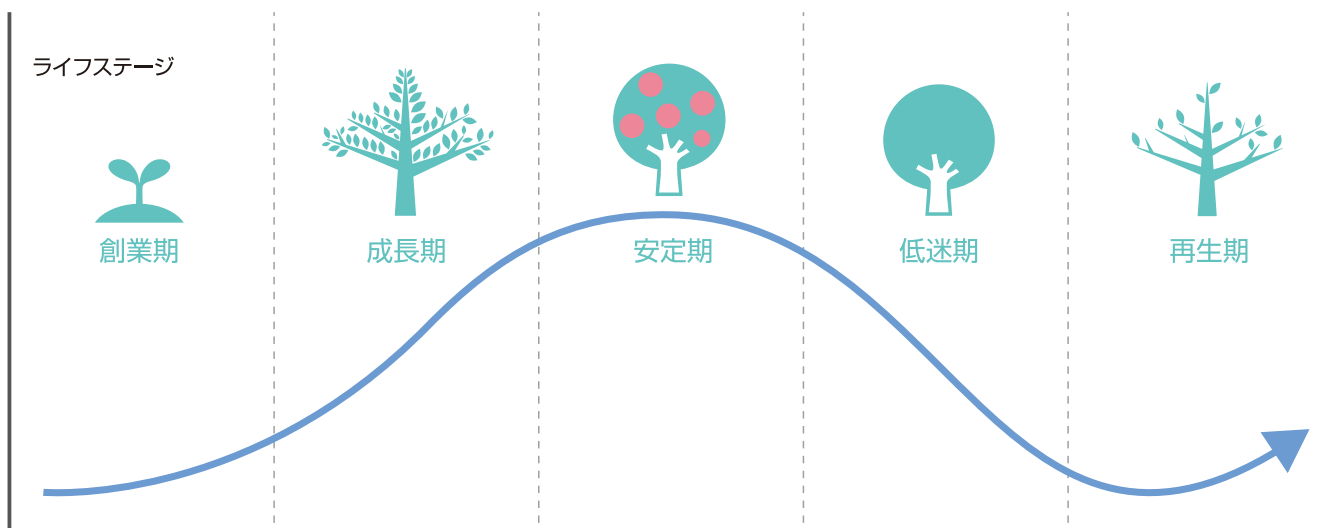
当金庫は、前述のようなお客さま本位の良質な金融サービスを提供し、金融仲介機能の質の向上に努めています。「金融仲介機能のベンチマーク」を利用してこの取り組みについてお客さまにもご理解いただくとともに、当金庫の取り組み状況の進捗管理や課題について自己点検・自己評価し、今後のお取引先の価値の向上につながる有益な金融サービスの提供を目指していきたいと考えています。

● お客さまについて理解を深めます

◆ ライフステージについて

当金庫は、地域のみならず日々のコミュニケーションを通じて、お取引先の経営目標の実現や経営課題の解決に向けて、ライフステージ(発展段階)を適切かつ慎重に見極めたうえで、状況に応じて適時に創業・新事業展開、売上向上、業務効率化、人材活用など最適な解決策(ソリューション)をご提案させていただいています。

当金庫では、お取引先からいただいた2,549先(平成31年3月末時点)の決算書等から、ライフステージの見極めや事業の状況を分析しています。



■ 共通ベンチマーク

当金庫をメイン先としてご利用いただいているお客さまについては、当金庫とのお取引引きがお客さまのお役に立てるよう、さらに理解を深めることに取り組んでいます。

ベンチマーク(共通1)		平成30年3月末	平成31年3月末
メイン先数		1,087先	1,049先
メイン先の融資残高		879億円	871億円
経営指標等が改善した先数		809先	779先
経営指標等が改善した先に係る 3年間の事業年度末の 融資残高の推移		平成30年3月末	平成31年3月末
		694億円	679億円
		平成29年3月末	平成30年3月末
		695億円	694億円
		平成28年3月末	平成29年3月末
		693億円	695億円

さまざまな経営環境の変化により、当初に予定したような事業の展開ができず経営不振に陥ったお取引先に対し、当金庫は金融円滑の趣旨に沿った支援に取り組んでいます。

ベンチマーク(共通2)		平成30年3月末	平成31年3月末
中小企業の 条件変更先に係る 経営改善計画の 進捗状況	条件変更総数	241先	418先
	好調先	1先	5先
	順調先	19先	26先
	不調先	221先	387先

当金庫では、未だ具体的な事業の構想がまとまっていなくても、お客さまがお持ちのアイデアや熱い思いについて、創業前の個別相談などにより準備段階から支援に取り組んでいます。

ベンチマーク(共通3)		平成30年3月末	平成31年3月末
金融機関が関与した創業件数		55先	72先
金融機関が関与した第二創業件数		3先	6先

当金庫は、地域社会・地域経済を支える柱として重要な役割を担っているお取引先のライフステージに応じた経営支援に積極的に取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

ベンチマーク(共通4)		平成30年3月末	平成31年3月末
ライフステージ別の 与信先数	全与信先	2,542先	2,549先
	創 業 期	65先	84先
	成 長 期	60先	74先
	安 定 期	684先	657先
	低 迷 期	75先	63先
	再 生 期	367先	384先
ライフステージ別の 与信先に係る 事業年度末の 融資残高	全与信先	1,630億円	1,636億円
	創 業 期	33億円	25億円
	成 長 期	45億円	55億円
	安 定 期	402億円	428億円
	低 迷 期	15億円	16億円
	再 生 期	404億円	442億円

当金庫では、お取引先の事業について理解を深めるため、事業性評価に取り組んでいます。事業の成長性や今後の事業展開・将来性について妥当性を評価し、事業の発展に寄与するさまざまな支援を考えてまいります。

ベンチマーク(共通5)		平成30年3月末	平成31年3月末
事業性評価に基づく融資を行っている 与信先数及び融資残高	先 数	325先	475先
	融 資 残 高	349億円	446億円
上記計数の全与信先数及び当該与信 先の融資残高に占める割合	先 数	12.8%	18.6%
	融 資 残 高	21.4%	27.3%

■ 選択ベンチマーク

お取引先の既存事業の発展や新たな事業展開に向けた相談に対して、本部と営業店が協働してその事業について当金庫の支援方針を検討する「事業性評価検討会議『Ai-biz(アイビズ)』」を開催しています。

ベンチマーク(選択5)	平成30年3月末	平成31年3月末
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先数	45先	66先
事業性評価の結果やローカルベンチマークを提示して対話を行っている取引先のうち、労働生産性向上に資する対話を行っている取引先数	37先	58先

当金庫では、お取引先とコミュニケーションを深めつつ事業性評価に取り組むことにより、財務データや担保・保証・返済履歴等に必要以上に依存しない与信判断も行っています。

ベンチマーク(選択11)		平成30年3月末	平成31年3月末
経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合	全与信先数①	2,542先	2,549先
	ガイドライン活用先数②	583先	460先
	②/①	22.9%	18.0%

取り組み項目	平成30年度
新規に無保証で融資した件数	895先
保証契約を解除した件数	0先
経営者保障に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	32.48%

創業に向け必要な手続きのお手伝いや店舗・事務所等の情報提供、さらに起業家同士の情報交換を目的とした交流会等もご案内しています。また、資金調達に関しては、創業関連融資「未来STORY」や補助金等の情報提供を行っています。

ベンチマーク(選択16)		平成30年3月末	平成31年3月末
創業支援先数 (支援内容別)	①創業計画の策定支援	支援① 61先	72先
	②創業期の取引先への融資 (プロパーと信用保証付きの区別)	支援②(プロパー) 2先	1先
	支援③(信用保証付)	53先	71先

お取引先が経営資源の「選択と集中」のために行うM&Aや、中小企業経営者の高齢化に伴い需要が高まっている事業承継について、さまざまなネットワークを活用し幅広いアドバイスを行っています。

ベンチマーク(選択19、21)		平成30年3月末	平成31年3月末
M&A支援先数		25先	135先
事業承継支援先数		16先	40先

お取引先の事業性評価や財務状況を理解するために、職員の自己啓発は欠かすことができません。お取引先の事業性評価や本業支援に資する研修への参加や、関連資格の取得を奨励しています。

ベンチマーク(選択39)		平成30年3月末	平成31年3月末
取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、同研修等への参加者数、及び同趣旨の取り組みに資する資格取得者数	研修実施回数	8回	7回
	参加者数	238人	225人
	資格取得者数	13人	6人

お取引先に対して専門性の高い支援事業を行うため、「よろず支援拠点」の活用および「ものづくり補助金」等の申請のお手伝いに積極的に関与しています。

ベンチマーク(選択43)		平成30年3月末	平成31年3月末
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数		38先	30先

■ 独自ベンチマーク

当金庫は、金融を通じて地域の経済発展に寄与することに加え、環境方針を策定しグループ全体として環境に取り組んでいます。環境に対する具体的な取り組みとして、国が進めるクリーンエネルギーの推進政策を側面から支援するため、節電やCO₂削減に取り組む企業または個人のお客さまに専用の融資制度を設けています。

ベンチマーク(独自)		平成30年3月末	平成31年3月末
太陽光、小水力、風力、バイオマス等の発電設備資金等の実行累計	先数	53先	53先
	融資残高	4,919百万円	5,346百万円